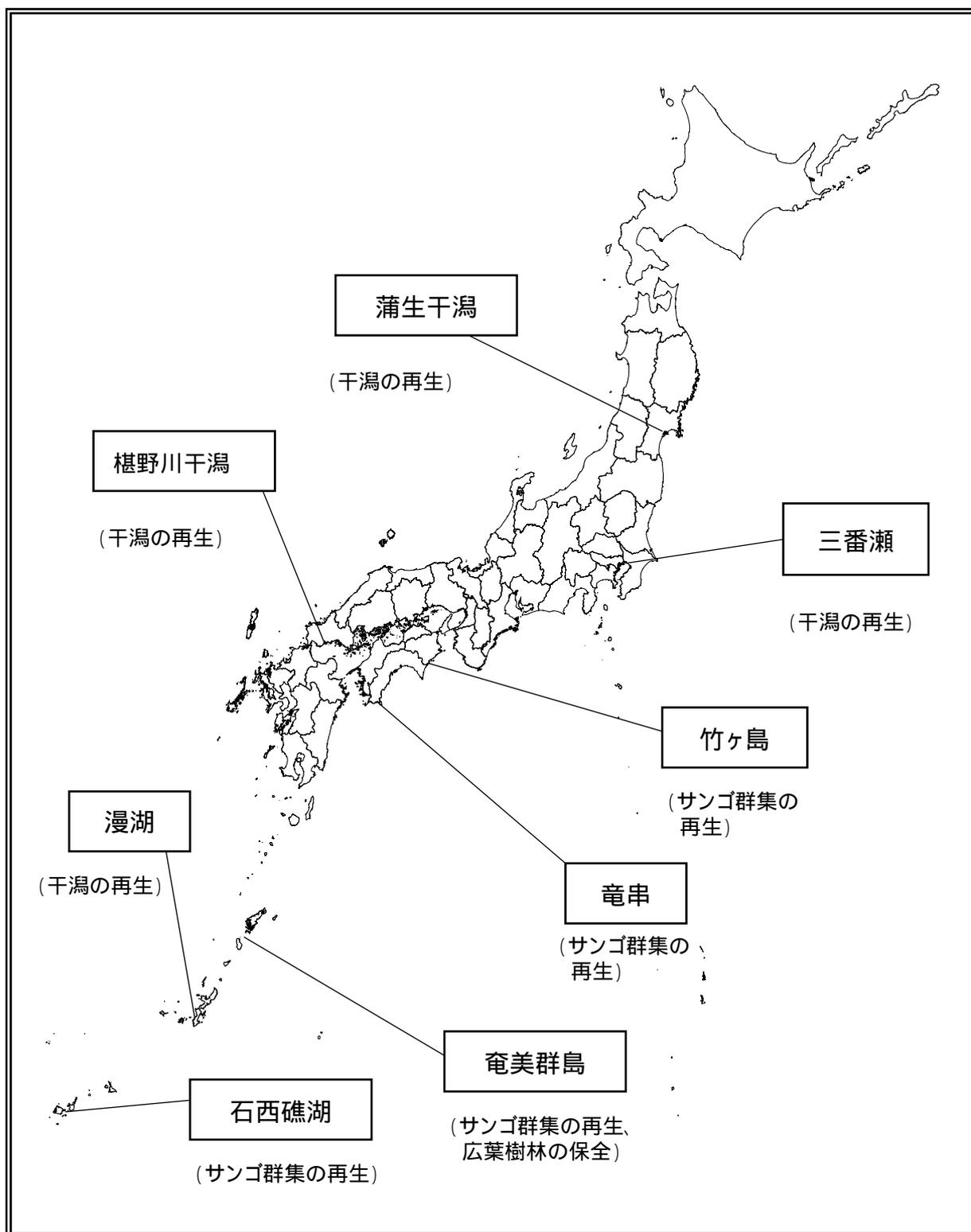


## 沿岸域における環境省関係自然再生事業の取組状況



# 沿岸域における自然再生の例

## 1. 石西礁湖自然再生の概要

### ■自然再生の目標

(長期的目標)

1972年の国立公園指定当時の豊かなサンゴ礁生態系を取り戻す

(短期的目標)

環境負荷をなくし、現状より悪化させない

### ■自然再生の5つの方法

- ・保全管理の強化（オニヒトデ対策、水質改善（赤土対策等）等）
- ・持続可能な利用（持続可能な漁業利用等）
- ・サンゴ群集の修復（着床具を用いた移植等）
- ・普及啓発（環境教育・環境学習等）
- ・調査研究（モニタリング調査等）



一斉産卵時の着床具の設置(H16)

移植した種苗

## 2. 榎野川河口域・干潟自然再生の概要

### ■自然再生の目標

人が適度な働きかけを継続することで、自然からのあらゆる恵みを持続的に享受できる場、『里海』を再生する。

### ■豊かな流域づくりという視点

- ・榎野川河口干潟等の生物多様性の確保
- ・源流の森づくり、豊かな川づくり
- ・地域通貨の導入

### ■河口干潟における自然再生の手法

- ・堆積したカキ殻の粉砕、硬質化した土砂の交換などによる底質環境の改善
- ・干潟に対する働きかけが持続される体制作り



カキの著しい増殖

## 3. 三河湾シーブルー事業

### ■事業の目的

富栄養化による水質や底質の悪化などの状況を改善するとともに、海に親しめる利用度の高い空間を創造する

### ■事業の手法

国の港湾事務所と県の港湾部局及び水産部局が協力して実施

中山水道航路の浚渫で発生する良質な砂を利用した覆砂を中心とした事業

海辺に良質な砂を使い、干潟を形成したり、海底を浅くして海草などによる自然浄化作用を高める工夫

(3. については中部地方整備局ホームページより環境省作成)